

# 京都教区時報

第95号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

明けましておめでとうございます



## “神の招きに一致して応えましょう”

京都教区司教 ライムンド 田中健一

区切りのよい一九八五年の新春にあたり、教区のみなさん一人ひとりに新年のご挨拶を申し上げます。特にキリストにおいて互いに結ばれ、同じ使命を受けていたる信仰の仲間である大切なみなさん!! 今年は更に交わりを深め、一致協力して、小教区、教区その他がよく連携し、神からのお招きに出来るだけ忠実に、犠牲を覚悟しながらも、キリストと共に応えて行くことが出来ますように。

教区のみなさんの相互交流を願つて再刊された「当

二ヵ月前の拡大編集会議に各县から多数参加して下さいました。この区切点で、その見直しがなされ、今回からは毎月発行、活字も大きく、内容も生れ變るということがあります。特に編集部のみなさん心から御礼を申し上げたいと思います。

二ヵ月前、教区時報」も隔月号ながら六年半、よく続いて参りました。この区切点で、その見直しがなされ、今回からは毎月発行、活字も大きく、内容も生れ變るということがあります。特に編集部のみなさん心から御礼を申し上げたいと思います。

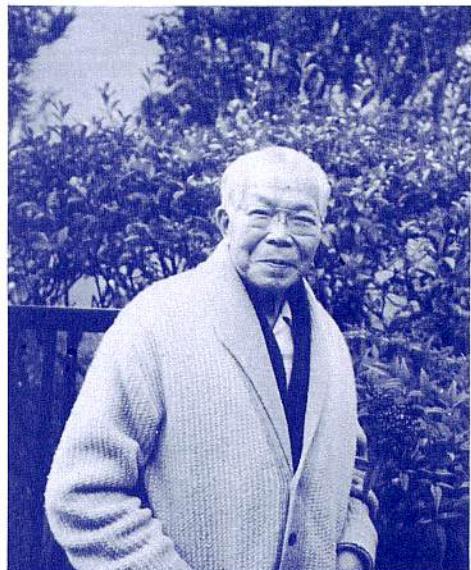
新年にあたつて重ねてお伝えいたします。第二バチカン公会議、教区ビジョン、そして昨年日本司教団が発表した日本教会の基本方針（これらは全部つながりをもつています）を、それぞれ異った立場で、異った形で、でも自己流ではなく、キリストにおける忠実な祈りと心で、取り組んで行きたいと思います。

神の国によきしるし、道具に選ばれた私たちは、「天に行われるごとく、地にも行われんことを」と神の国の到来を祈ります。

特に「救いの歴史」を見る時、神様が私たちをこの上なく大切にして下さる事が肌に感じさせられます。従つて私たちも、自分が出会う人、彼がどんな人であつても、忍耐と聖靈による賢明さと愛をもつて大切にして行くよう、工夫と努力と祈りを通して実践して行きましょう。聖人たちも同じ弱さをもつていましたが、この神の国を信じぬいて生きて行きました。

# 皆さまおめでとうございます。

古屋義之司教



司教さまの友達ピーコちゃん。  
よくお話しします。

司教の  
足どり

11月	3日(祝)第6回ウォーカソン。
4日(日)	大和八木創立25周年堅信ミサ、記念コンサート。
5日	司祭評定例会。マリスト地区と面談。
6日	野中代議士と面談。
8日	フェルセツカ師とサヨナラ昼食。平和への歩みの集い、大使歓迎実行委。
10日	Sr 和田SSND地区長来訪。
11日(日)	桑名25周年ミサ。駐日V大使と面談。大使歓迎委。
12日	宣教司教委。
13日	京都国際宗教同志会(於一燈園)PH氏と面談。
14日	南信協婦人部追悼ミサ。T師と面談。大使歓迎委。
16日	教区男女管会長会議(聖ヨゼフ童安寺)。
17日	司祭評定委。
18日(日)	富雄堅信ミサ。時報拡大編集会議。ビジョン推進会。
19日	教区付司祭月例会。
20日	大使歓迎最終準備会。
21日	大使新幹線最終車で到着。
22日	宗教記者会見(於東本願寺)。
23日(祝)	大使に同伴、カナル、京都女子カルメル、聖要会、聖ヨゼフ整備園。平和への歩みの中で大使を公式式歓迎(学習会、ミサ・於洛星講堂)。代
24日	広瀬氏と面談。文化学習(平安神宮、御所、二条城、南蛮寺跡)。近鉄にて御所の難民キャンプ、老人ホーム。夕方ミサ。伊勢へ。ホテル泊。
25日(日)	早朝伊勢神宮見学。伊勢教会ミサ。松坂教会、南勢老人ホーム、三雲の家。津教会夕べのミサ。懇親夕食会。四日市へ。泊。
26日	M M女子校。四日市教会。聖母の家。海星(柔道見学)、エスコラピオス。名古屋経由東京へ。
27日	スペール会総長来訪。O姉通夜。
28日	(社)カリタス理事会。
29日	駐日V大使訪問。東京神学院常任司教委。
30日	同右。帰路。
12月1日	小さい姉妹友愛会記念日。
12月8日	女子カルメル会25周年記念日。
12月9日(日)	伏見堅信ミサ。平和学習会。
12月18~21日	司教協臨時総会。
12月25日	クリスマス大祝日。
12月27日	教区付邦人司祭月例会。
12月29日	教理センター理事会。
1月1日	正月元旦。世界平和祈禱日。
1月4日	教区内の司祭、修道者ミサと懇親会。
1月19~20日(日)	教区司牧評設立総会。

表者と共に大使を囲む夕食会  
(三条)。

平和について考え、祈り、努力するのはただ8月の平和句間だけに終らせたくないという私達の思いは、7月から12月にかけて、毎月、平和と人権に関わる問題を学習してきました。11月23日はその一つの頂点として、南部信徒協、修女連、司祭評の担当で、山田経三師に、アメリカ司教団の平和教書「平和への挑戦」について講演会をしていただきました。そこで、司祭、修道女、信徒の希望がなされました。

こうして具体的な準備委員会が9月頃から発足しました。その結果、この大会を「平和への歩みの集いと駐日教皇大使京都教区公式訪問」とし、平和を求め、

平和について考え、祈り、努力するのはただ8月の平和句間だけに終らせたくないという私達の思いは、7月から12月にかけて、毎月、平和と人権に関わる問題を学習してきました。11月23日はその一つの頂点として、南部信徒協、修女連、司祭評の担当で、山田経三師に、アメリカ司教団の平和教書「平和への挑戦」について講演

会をしていただきましたのであります。折りも折、教皇大使カルル一大司教様の公式訪問があるので、その歓迎の方法を考えてほしいとの要望がなされました。

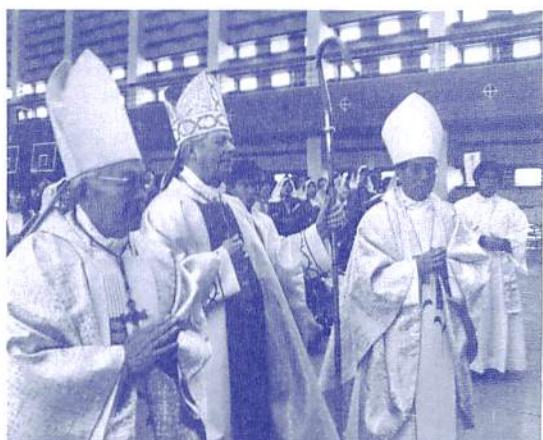
代表と正平協の代表等が集まり検討した結果、大使を歓迎する最も良い方法は、このビジョンの具体化の一つであるこの平和学習会の流れの中でお迎えするのが、特別な歓迎会をするより、お喜びいただけるのではないかと考えたのであります。教皇大使として、個人的な歓迎をされるよりも、教会の動きを御覧になりたいに違いない、と思つたのです。

講演は一時半からの予定であったが、講師の神父様の到着が遅れ講演時間が短かくなつた事はまさに申し訳なく思われる。交通渋滞とこちらの連絡の不行きどきもあった。

ミサの時間も長びき、終了が予定より遅れた事も、多くの方々に迷惑をかけた。しかし、全体に皆熱心にあざかり、アンケートの結果を概観すると、大体において成功したのではないかと思われる。

## 平和への歩みの集いと 駐日教皇大使 京都教区公式訪問

1984年11月23日祝  
於 洛星高等学校大講堂



カルド・駐日教皇大使（中央）

学び、祈り、働くという事を、スローガンにいたしました。

尚、同時に行われた「子供大会」について一言説明しておきます。

はじめ、親も安心して参加出来る

ために子供達の世話をどうしよう

かという事になり、教会学校教師会に相談を持ちかけたところ、快

諾を受け、当日を子供大会とし、

子供達は子供達なりに平和を学び、

祈り、働く事を考え方よいう事になつたわけです。

当日の講演内容、並びに、当日のミサの内容、特にそこで発表された、学習会の報告内容について

は、別に特集を出す事になつてい

るので、時報の報告と合わせてお読みいただき、今後の反省と黙想の材料にしていただきたい。

講演は一時半からの予定であつたが、講師の神父様の到着が遅れ

講演時間が短かくなつた事はまことに申し訳なく思われる。交通渋滞とこちらの連絡の不行きどきもあった。

アンケートの結果についても後日報告したいと思う。

大使の説教の中にあつたように、平和は正義なくして語られず、又りえない。又その人間尊重は、差別されている「小さい人々」日を向ける事なしに実現しないものである事を、悟らされ、反省と祈りの中、この一時を過せた様に思う。これらの集いで得たものは、今後、私達の心からの努力によつて実現されるものである事はいうまでもない。平和と実現を祈りながら、この報告を終る。



平和への決意新たに



# 新春座談会

## 司教と若者たち①

田中健一 司教 河原田清和(西院教会・21才)  
岡原広茂(奈良教会・25才) 河岸芳人(衣笠教会・19才)  
湊興安寧(北白川教会・22才) 仲村恵理(長岡教会・19才)

今年は国際青年年に当たる。教区ビジョンにも青少年の育成が掲げられているが、はたして、青少年同志、青少年と大人はうまくコミュニケーションでできているだろうか。教会で若者は何を感じているのだろう。司教を交じえ、教会における若者の本音を語ってもらった。

— 教会で若者たちが活動していく上で、中学生、高校生、大学生、そして、大人の方々それぞれのつながりが難しいという事ですが…。

仲村 教会全体で以前合宿した時に、中高生というのは中途半端でなんか面白くない。中学生も入れて活動する為の別の青年会を作つたんですが、年令差がありすぎると、中学生がついていけない感じで離れていくばかりで残念ですね。

河原田 中学生、高校生が別だと、又それが一つの壁みたいになってしまつて。青年会、ヨゼフ会、マリア会と一応順序よう並んではいるけど、あいつらはどちらとは関係ないどつながりが少ない。大人からこなれは、あかんと言われる事はないけど、あいつらはどちらとは関係ないし好きな事やつとけや、みたいな感じにも思えたりするんですね。

河岸 青年会と中高生会が隅っこ

にポイと置かれてる感じ。何するにしても、絶対圧力がかかって来るんですね。一度バザーで、やかましい方のコンサートをしようといふ話になつたけど即刻やかましいのはいや、とか返つて来て、うやむやになつた時、すごく寂しいなと思った。昔の若い人と僕らと、やつぱりずはあると思う。だけど、理解だけはしてほしいな。

湊 全体的になれあいという感じがあつて難しい。この間、僕の小さい頃を思い出してみたんです。昔の人はもつとしっかりしたはつた気がする。僕らは幼いなあ、時代も変つたんかなあとthoughtしました。

岡原 私も25才社会人ですので、後輩の指導という事がすごく大事だと思って青年会の活動の中にそれを盛り込まなければならないと考えています。今までやはり、大人とのコミュニケーションがうまくいかなかつた。でも、私が大人になつてわかつた事は、大人は子供たちとコミュニケーションを持ちたいと思っている。少くとも、話してみよう努力してみなくちゃいけないと思うし、そうすれば聞いてもらえると思う。現在は月に一回、大人の人と準備役員会といつてもらえると思う。うちの教会最後は我々に任せてもいいよって感じの姿勢があります。

湊 興安寧君  
青年会副会長・教区中学生会リーダー

河原田 例えば、中学生会で合宿を企画すると、大人はすごく大きな期待をかける。僕らは一緒に遊んだ

— さきほど、大人は自分たちをもつと理解してほしいという話が出ましたが、理解されていないなと思う面はどんな所ですか?

仲村 私たち中学生の時に思つたのは発言権が全然ないっていうか自分たちはこう思つてんだつていう事を聞いてもらえない感じがしました。

岡原 広茂君  
青年会々長・今年奈良ウォーカソンのリーダー



河岸 芳人君  
大阪で下宿中、玉造教会青年会  
にも参加、中学生会リーダー

河岸 僕も中学生会に行って、友達がいた。大切な事がわかつたしね。みんなとワイワイ騒ぎながら、親身になつて話せるような友達がふえて、そこから、キリストの事なるかに話を持つて来られると思う。うれですよ。そういう道順を、上の人が見守り理解してほしい。

河岸 いくら年とててもいいですしね、僕らの年命に戻つてしまふをしてほしいですか？

大人の人にどのような接し方をしてほしいですか？

り交流を深め、そこから何か生まれるんとちがうか、友達の輪が広がればそれだけでもいい事やと思うんですけれど。



河原田 清和君  
教会高校生会世話役・中学生会  
リーダー

**岡原** 指導していくたゞく方に遊びも認めて頂くという事、我々が平行線でしか見れない時に、ちょっと上を見たり、下を見たりとかいうことを教えてくれるような先輩、すぐに結論を急がれないような、いわゆる男氣、女氣のある人などいいなと思います。

しかついで汗を流した後にノミ二  
ケーションと酒を飲む、それがコ  
ミュニケーションとなって共同体  
が作られていくかぎになっている  
事も見のがせませんね。

——いいなと思う大人の方はいら  
つしやいますか。



仲村 恵理さん  
青年会・中学生会リーダー

湊 うちの教会は、青年会がこれ  
しますと言うと、何でもやつて下  
さいと言うてくれはる。何かした  
いなという気はあるんですけど、  
どうしていいかわからないという  
のも本音。やっぱり注文や批判も  
ないしとへんな所へ行く可能性もあ  
ので来るなと言われてみると…  
(笑)。で、言われたら、どうして  
教会に来るのか考えたしね。だな  
ら、そういう一言で人生変わるも  
もしませんよ。今ちょっと休体  
なさってるんですけど帰つて少  
てほしいですね。

――ありがとうございました。

青年の生の声を聞き皆さんはどう思われただろう。若者の存在を認め、励ます事をして来ただろうか。今年は若者とのコミュニケーションにも目を向け、互いによいものを分かち合う実りある国際青年年にしたいものである。

**司教** 遊びという話が出来ましたね。

仲村 Tさんは相談にのつてもらつた時、Tさんは自分を大人だと思わないでというか、自分の悩みもこちらにぶちあけて話してくれはつたんがすごく嬉しかった。そういうふうに大人の人もそうかつて聞くだけじゃなく、ワシもなあつて感じで話してもらつたら、もつと打ち溶けていくんじやないかな。**司教** 今皆さん方が皆さんなりにいいポイントを苦労の中で見つけで来られた事に感心しています。若い人達のいい仲間作りを、大人の方にも手を離して目を離さずといふ形で見守つて頃く事が小数区、ブロック共同体作りでも大切。遠慮なしに話して頂いてありがたく思います。

— ありがとうございます。

青年の生の声を聞き皆さんはどう思われただろう。若者の存在を認め、励ます事をして来ただろ  
うか。今年は若者とのコミュニケーションにも目を向け、互いによ  
いものを分かち合う実りある国際  
青年年にしたいものである。

京都塩小路七条、狭い住宅の密集する路地の中に青い修道服のシスターの方の家はある。京都に来られて14年、以前は三条にあつた家を類焼の為に焼失し、ここに来られて5年になる。わずか3人の共同体である。「私たちの会では、ナザレトのイエス様に倣い、イエズス様のなさった生活を理想としています。つまり、小さい人々と共に同じ生活や苦しみを分かち合い、普通の生活をしながら、友情を通して、会話を通してキリストを伝えていきたいのです。」

狭い木造の中には三間ほど、

大切にしながら伝えたい、教会の手が及ばない所へ教会を運んでいきたいと思つていてます。シスターの方の職場は、だから一般的のパン屋さんの掃除や雑人形屋さんの服作り等。「もつと親しくなりたいと思います。いろんな事に困われていると、もつと単純になります。」本当に飾らない愛を教えてもらえるとシスターは明るく笑われた。

生きる姿勢でキリストを伝える、誰にでもできる一番大切な宣教を今一度見直してみたい。

## 修道会を訪ねる イエスの 小さい姉妹の友愛会



大工として働いておられました。手足を使う労働者として、めだたない仕事を

祈りをしたり、お花や笛演奏をプレゼンツしたり、お花を見て祈る心を素直にお捧げしている。「ヨゼフ様、イエス様も大工として働いておられた。手足を

愛する神様わたしには時をお与え下さい。人間つてものはほんとにいつも忙しがってばかり

連中に教えてやってください。急ぐことのまったく苦手なわたしみたいなものもいるつてことを。

たべるのも歩くのも眠るのもまた考えるのもわたしには時間かけてゆっくりやらせてくださいますように。

アーメン

## 箱舟からの祈り 牡牛の祈り

C・B・デ・ガストルド著



### 教えてサロモンさん!!

お聖堂の事を教会だと思い込んだりませんか?

「教会」はギリシャ語で「エクリシシア」もともとは「集会」「人の集まり」のことです。聖靈によってキリストの元へ集められた私たち自身が教会です。洗礼を受けて神に召されたすべての信徒(これを教会憲章は神の民といいます)をさすのです。小さな教会共同体も大きな教会共同体もキリストをからしに持つべき教會です。しかし、ばらばらに

いくつもあるのではなく、キリストに結ばれてひとつのです。様々な人がらなる共同体。多くの種類の音から美しい音楽が生まれると同じように、キリストの体がよく動くためには、司祭も修道士も信徒も、お互いに認め合い、受け入れ合い、愛し合い、尊敬しないなんて、教えられる事も多いです。本当に飾らない愛を教えてもらえるとシスターは明るく笑われた。

たべるのも歩くのも眠るのもまた考えるのもわたしには時間がかかることがあります。コリント前書12章31節読んでみましょう。「神は劣つた所にことに尊さをえて、人の体に調和をお与えになつた」とこの御言葉も考えてみましょう。



京都・奈良ウオーカソン

お礼の手紙（抜粋）

マリアの宣教フランシスコ会

水島洋子

美しい流れと自然の中を駆けた気持ちの良さ、それにも増して、スポンサーになつて下さつ

の上に神様の豊かな御恵みと御祝福を祈らずにはおられません。私たちにとっても、とても良い体験をする事ができました。

千余円になりましたのでお送り  
パン屋 ふくらむ  
堂が

なれば……と常に想いつて、どうして良いかわからない方が沢山いらっしゃるのだ……という事を感じました。

ブルキナファソには早速報告のたよりを出しました。皆様どうもありがとうございました。祈りのうちに……。

## 日星高校でもウオーカソン!!

舞鶴・日星高校三年  
伊藤佳世

## 聖書クロスワードパズル



A	B	C	D	E	A	F	G
---	---	---	---	---	---	---	---

## 答 元

☆答えをハガキでお送り下さい。正解者の  
中から5名の方に記念品をプレゼントいたし  
ます。住所、名前、電話、年令、教  
会を書いて1月末日までに編集部宛お送  
り下さい。解答は3月号に掲載。

- |    |                             |    |                      |
|----|-----------------------------|----|----------------------|
| 1、 | ——の国からやつてきた博士たち。            | 1、 | タテのかぎ                |
| 2、 | 江戸時代の流刑地。大輪の——。             | 2、 | ヨコのかぎ                |
| 3、 | アブラハムはその息子シモンと——は兄弟でした。     | 3、 | 3人の博士の贈りものひとつ        |
| 4、 | 7、使徒ヤコブとヨハネの父の名は？           | 4、 | いいのをみたいですね。          |
| 5、 | 日本秋の花は何といつてもらず。             | 5、 | 最初の弟子4人はみんなでした。      |
| 6、 | 9、幼な子イエズスはユダヤのこの地でお生まれになつた。 | 6、 | タボル山の上でできごと。         |
| 7、 | 12、恩をうけたら、こんな返し方はいけません。     | 7、 | 漁をするときに用いる道具。        |
| 8、 | 13、マタイの福音書第1章はイエズスキリストの——。  | 8、 | ヘロデ王のあとをつけで王となつた息子は？ |
| 9、 | 14、冥土のこと。                   | 9、 | いいの弟弟子4人はみんなでした。     |

タテのかぎ

- ヨコのかぎ

# お知らせ

▼司祭移動 よろしく!!

園部教会主任

ホセ・A・ロペス神父(龜岡教会)

▼司祭評議会定例会議報告

一九八四年十一月五日(用)開かれ、  
左記の事項が審議されました。

一、京都教区司牧評議会について。  
二、京都教区司牧評議会について。  
三、各委員会の担当者が暫定的に  
任命されました。(時報No.93号4頁参照)

司祭評議会事務局長

滝野正二郎

▼日本二十六聖人  
「長崎への道」巡礼

◇第19回巡礼

日時 1月3日(木)～4日(金)

集合場所 福塩線神辺駅。AM10時  
コース 神辺駅～芦田川沿いに南下～備後  
赤坂～松永駅まで16km宿泊

松永～尾道～糸崎～三原～20km

◇第20回巡礼

日時 2月10日(日)～11日(月)

集合場所 三原駅。AM9時50分

コース 三原駅～本郷一日名内～湯坂温泉  
峠～上三永～松内山峠越え～西条

泉～22km宿泊～湯坂～田万里

一八本松駅22km

★信者・未信者を問わず参加歓迎  
詳細は〒657神戸市灘区篠原伯母野

山町二一四一～六甲学院内「長  
崎への道」本田周司先生まで。

☎078(871)4161。

京都地区は聖母学院三牧先生まで。

☎0720(31)1381。

## ♥教育里親を待っています♥

—マニラ八木教育里親運動—

現在、フィリピンのマニラ市では、意欲と能力を持ちながら、経済的な貧困の為に義務教育すら受けられない子供たちが非常に沢山います。そのような恵まれない子供たちが就学を目指して、善意ある日本の里親を待っています。概略は左記の通りです。

○フィリピン・マニラ市を中心とした子供たちを対象。

○義務教育(小学校)不就学児童。

○里子は奨学資金委員会が厳選。

○援助期間は原則として6年(小学校、前期4年・後期2年)

○里親は里子に対して、年間1万円の就学資金援助と別に3千円の事務・通信費等を負担。○その他諸項目あり、詳しくは左記へ。

〒629-01京都府船井郡八木町南広瀬砂子45。☎077-142(2)3065

代表者 広瀬幸雄

☎(平日昼間)077-12(2)0059 京都急送 気付

投稿のお願い

▽御意見、疑問、信仰体験の分かちあい: ▽子供の作文等▽三百字以内、たて書き。趣旨を変えない

程度に直す場合もあります▽小教載をもつて採否の連絡にかえます。

▽採用分には記念品進呈▽住所、氏名、年令、職業、□所属教会

を明記の上、〒606京都市左京区仁王門通り新高倉東入ル 京都カトリック教理センター「教区時報編集部」宛お送り下さい。

●人の世は、悲しみに満ち、悲しみが悲しみを悲しみへと呼ぶ。この現実が喜びという言葉と変る所、福音が。

●復刊以来はじめての“一月号”! そして今年は国際青年の年。変化、成長こそ若者であるしるし。京都教区も青年のような変化・成長が望ましい。互いの心を開いて(Y)

●座談会の青年たちの声、どうお感じになりましたか? あなたの教会の実態は? ! 感想を聞かせて下さい。新しい投稿欄があなたをお待ちしています。(よ)

●新年の御挨拶申し上げます。時報も新しくなって、初日の出と共に、輝く海岸へと毎月号が出帆いたしました。風色に恵まれた航海

ができます様お祈り下さい。(K)

本紙を福音宣教に役立たせるため、ご近所、お友だちにもお見せ下さい。



\* \* \* \*